

## 第3回 辰野町地域公共交通会議幹事会 議事録

●日 時：令和5年3月1日(水) 午前9:00～午前10:30

●会 場：役場2階 第6会議室

### 1. 開 会

事務局

- ただいまから第3回 辰野町地域公共交通会議幹事会を開催いたします。

### 2. あいさつ

三浦(事務局長)

- 本日は年度末の大変お忙しい中ありがとうございます。今年度、この幹事会については6月、7月と実施しており、今回で3回目となります。10月から運行している新たな仕組みによるデマンドタクシーもこの3月で6ヶ月目を迎えており、運行実績やアンケート調査の結果を説明させていただく。  
また、町の様々な交通体系の連携を強化するために令和5年度以降に法定協議会を設置させていただく。その点についても後ほど説明がありますのでよろしくお願いいたします。

### 3. 協議・報告事項

(1)デマンド型乗合タクシーの実証実験の運行状況等について (報告事項)

・資料 1・2 に沿って、事務局より報告

※意見、質疑応答は以下のとおり

赤羽委員(社協)

- 今回は幹事会なので全体会でも同じ内容を説明するかと思われるが、もっと細かく数字を出した方がいいかなと思う。アンケート結果を見ると総体的に好評であると感じ取れる。ただ500名弱の登録者がいて、現在の利用者が70名ほどで400名以上は利用していないということでのいいのか。また、定額運賃で利用している人数は。

事務局

- 登録者数に対して利用者数は少ない状況であり、認識のとおり400名以上が登録をしてありながら、利用はしていないという状況です。また、定額運賃の利用者数は70人のうち50人程度である。

赤羽委員(社協)

- 定額運賃の導入というのが大きな点であるため、全体会ではその説明を細かくしてもらえればいいと思う。

小野委員(女団連)

- 先日タクシーに乗車した際、偶然デマンドの担当されているドライバーとお話した。自宅まで道が狭いとお迎えに行けないと言っていたがその点が心配。  
また、小野地区では歩ける方は電車にも乗ることができ、まだ大丈夫だと思いますが、これから不安というお声も聞く。小野地区ではまだ運行していないかと思いますが、ぜひ検討していただきたい。

赤羽委員(社協)	● 小野・川島地区はこれから意見が出てくると思われる。しかし、デマンドの運行区域からは、外れてしまうかもしれない。その点についてはこの後の議題で触れるととなっている。
事務局	● 狭い道や降雪等による悪路の対応などドライバーの皆様には負担をかけているところもあると認識している。
赤羽委員(社協)	● 長野県のタクシー協会は、デマンド交通におけるドア・トゥ・ドアでの運行はお断りしているとのことだった。協会と辰野タクシーの関係についても気になるところはある。
事務局	● 当事者同士で話はなされていると伺っている。辰野タクシーの理解があれば協会として認めていると認識している。
竹村委員(保健福祉課長)	● 当課では福祉タクシー券を配布している。デマンドも見直しを図る中で、福祉タクシー券との兼ね合いを考えたほうがいい。1年間の有効期限で6月頃に配布に配布しているが、有効期限の失効前になると町営バス券に交換したい、デマンドで利用したいという方が多い。しかし、町営バス券やデマンドだと有効期限なし。運行区域が限られているものなので不公平感もある。今後はその仕組みについても考えたほうがいいのかと思う。
事務局	● かねてよりご意見いただいております、特にデマンドについては小野・川島地区にお住まいの方からすれば不公平と感じてしまうため、タクシー券の運用方法について見直しを図りたい。
宮原委員(建設水道課長)	● 先ほどの資料の説明の中で、課題として午前中の利用がたくさんあり、予約が入りにくいとのことだった。全体の会議で解決策を聞かれることも予想されるため回答を用意しておくように。
赤羽委員(社協)	● 今後利用が増えていった場合、車両の追加なども視野に入れているなどの回答の用意を。
事務局	● 車両の追加にはドライバーの確保が必要であるため、辰野タクシーとの協議をしていき検討していく。

## (2) 辰野町地域公共交通会議にかかる法定協議会の設置について(協議事項)

- ・資料 3 に沿って、事務局より説明

※意見、質疑応答は以下のとおり

⇒一同承認

赤羽委員(社協)	● これからも公共交通にとって絶対に必要な協議会だと考える。その説明を全体会でするには道路運送法に基づく交通会議と活性化再生法に基づく協議会を一つにするという説明だけでは難しい。いつから施行された法律で、現状では何が足りないのかなど、二つあったもの合わせる趣旨を分かりやすく説明する必要がある。 国の補助金を受けるためとあるが、川島線・飯沼線の運行経費に
----------	--

	<p>対する補助金のことか。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご認識のとおり。</li> </ul>
赤羽委員(社協)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● この資料で計画を作らないといけないことはよく分かるが、補助金のためなのかという感じに受け取れる。なぜ作らないといけないかを「町が目指すべき」と記載があるが具体的に見えてこない。よく見ないと分からない。</li> </ul>
小野委員(女団連)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● NPO等は、「あかり」などと繋がればいいなと思う。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デマンドタクシーの実証実験に着手していく中で、運行区域外の町営バス2路線の沿線地区に向けて、町として地域全体の公共交通を考えているということを伝えていくためにも幅広い分野の方々に構成していきたい</li> </ul>

#### 4. その他

- ・事務局による全体会議についての説明。

#### 5. 閉会

三浦事務局長	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本日は慎重審議いただきありがとうございました。これで第3回辰野町地域公共交通会議幹事会を終了いたします。ありがとうございました。</li> </ul>
--------	--

# 第3回 辰野町地域公共交通会議幹事会 会議次第

日 時：令和5年3月1日(水)

午前9時00分～

場 所：役場2階第6会議室

## 1. 開 会

## 2. 協議・報告事項

(1) デマンド型乗合タクシー実証実験の運行状況等について（資料 No. 1・2）

(2) 辰野町公共交通会議にかかる法定協議会の設置について（資料 No. 3）

## 3. その他

## 4. 閉 会

# デマンド型乗合タクシー実証実験の 運行状況等について

---

# 令和4年10月～令和5年1月までの運行状況

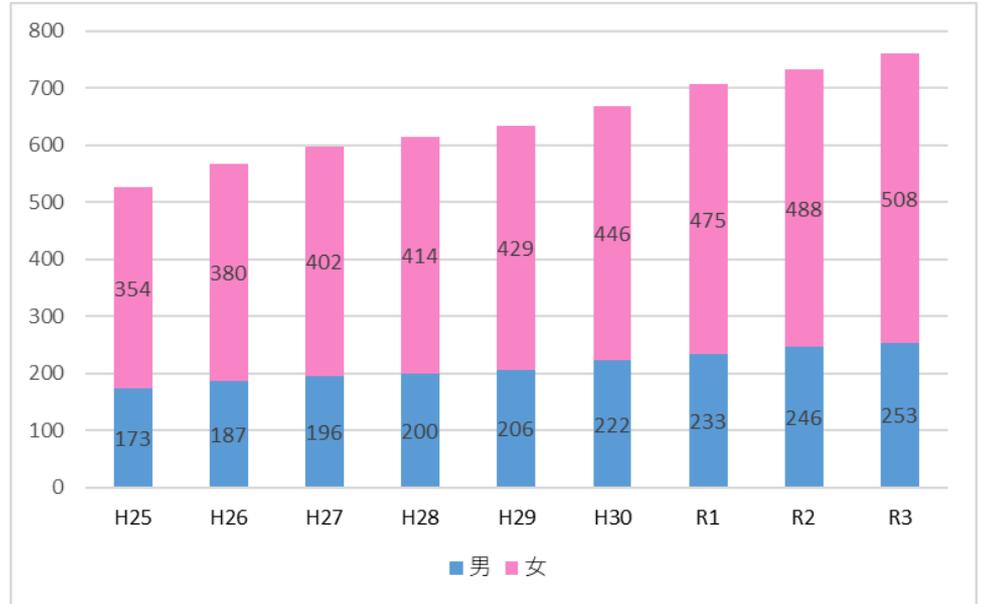
- 登録者数推移
- 総利用人数
- 年代別利用状況
- 運賃別利用者数
- 時間帯別の利用状況
- 各施設ごとの利用状況

# 登録者数推移 (実証実験開始前～現在)

■登録者数推移(延べ人数)

人

年度	登録者数	男	女	比較増減
H25	527	173	354	
H26	567	187	380	40
H27	598	196	402	31
H28	614	200	414	16
H29	635	206	429	21
H30	668	222	446	33
R1	708	233	475	40
R2	734	246	488	26
R3	761	253	508	27



■登録者数推移(実証実験開始後)

人

月	登録者数	男	女	比較増減
R4.10月	509	143	366	
R4.11月	515	145	370	6
R4.12月	515	145	370	0
R5.1月	521	150	371	6

実証実験開始後の新規登録者数 12人



※実証実験開始前に、転居・死亡など利用ができなくなった方の登録を削除しています。

※令和4年4月1日～現在までの新規登録者数は、49名。

# ➤ 総利用人数

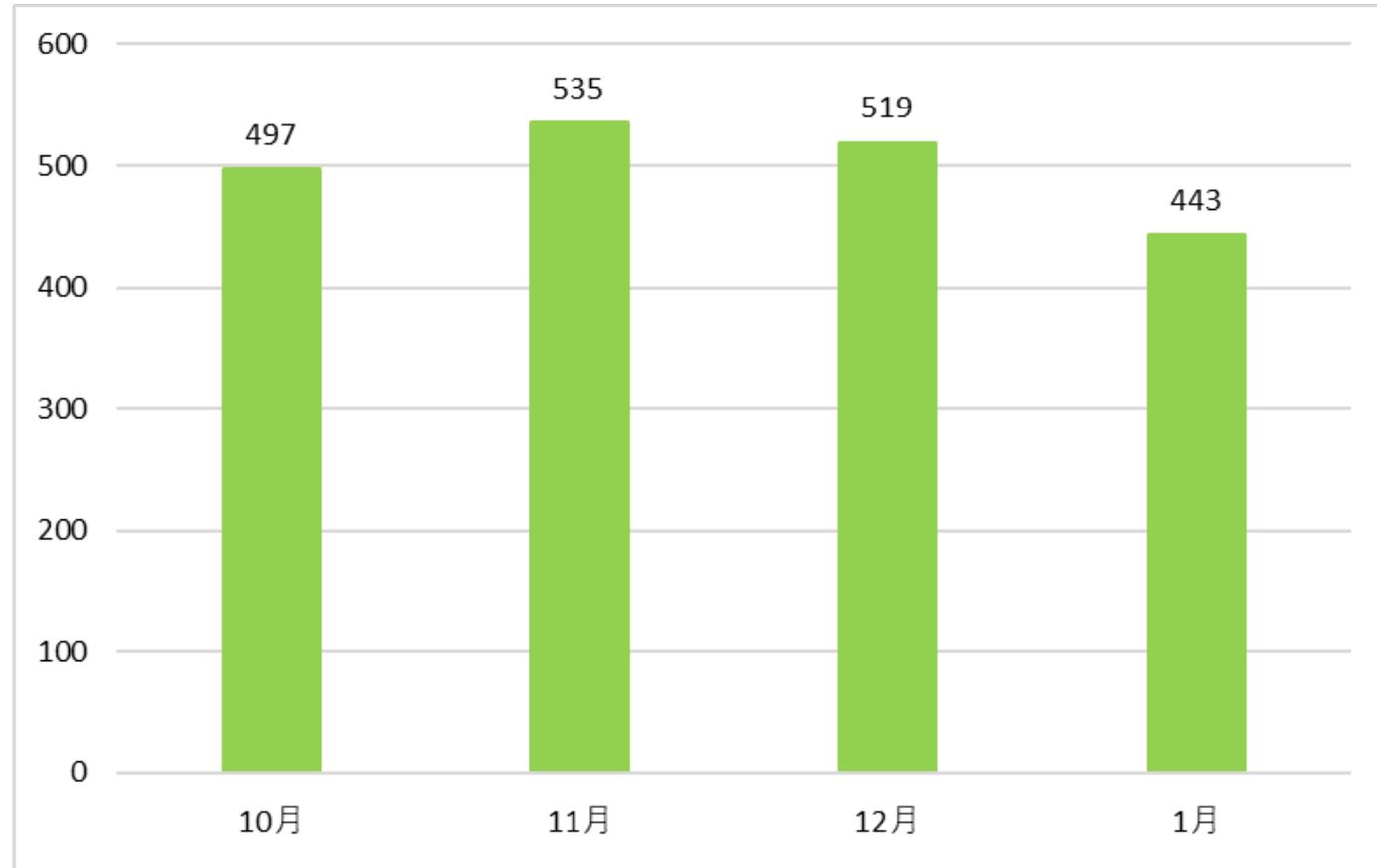
(令和4年10月～令和5年1月)

1か月平均：

**498.5**人

■ 総利用人数

月	延べ利用人数
10月	497
11月	535
12月	519
1月	443



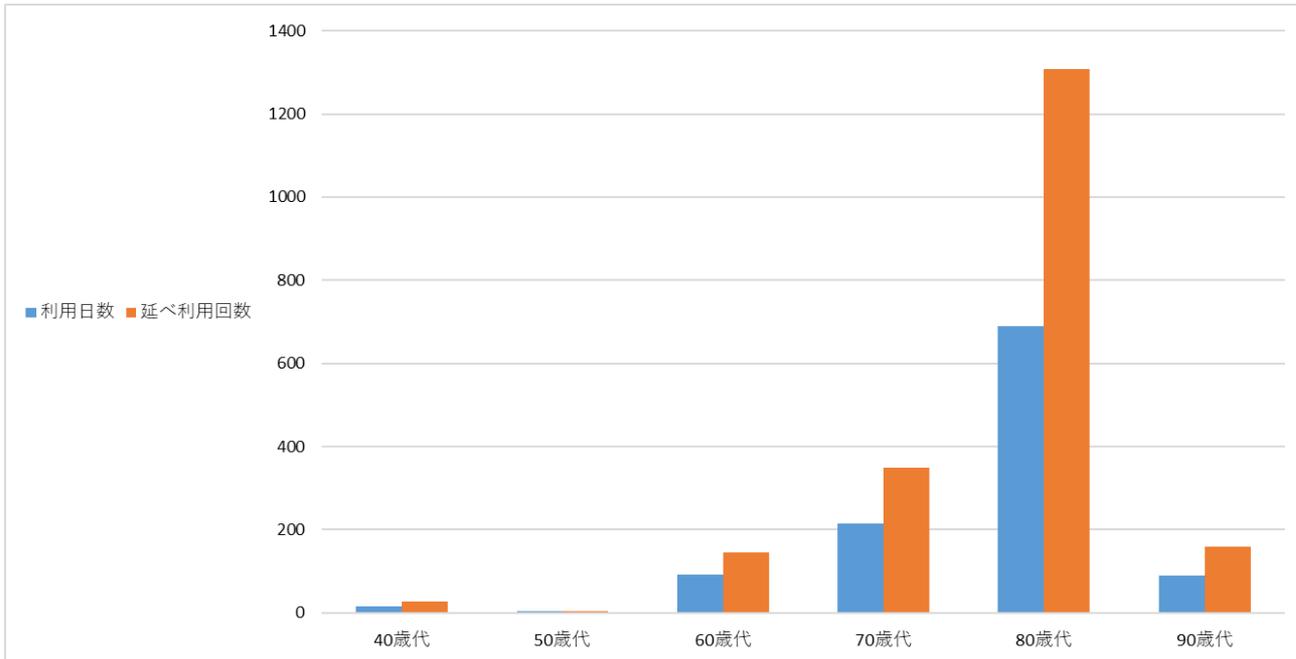
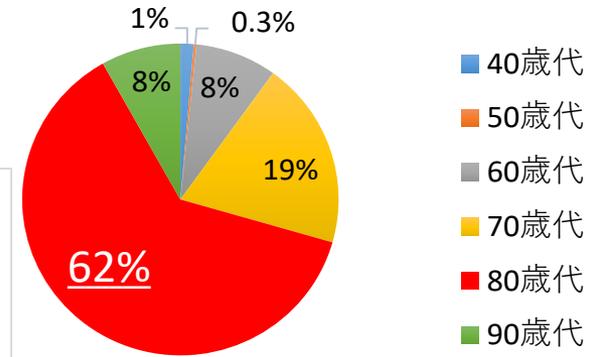
○実証実験開始前の月平均は約300人。  
○1か月あたり200人程度増加しました。

# ▶ 年代別利用状況 (令和4年10月～令和5年1月)

■ 年代別利用頻度(合計)

	利用日数	延べ利用回数	1日あたりの平均利用回数
40歳代	15	27	1.80
50歳代	3	5	1.67
60歳代	92	145	1.58
70歳代	215	350	1.63
80歳代	689	1308	1.90
90歳代	90	159	1.77
計	1104	1994	1.81

○ 80歳代が最も多い年代となりました。  
 (全体の62%が80歳代)  
 ○ 1日当たりの平均利用回数は約2回と  
 なっています。



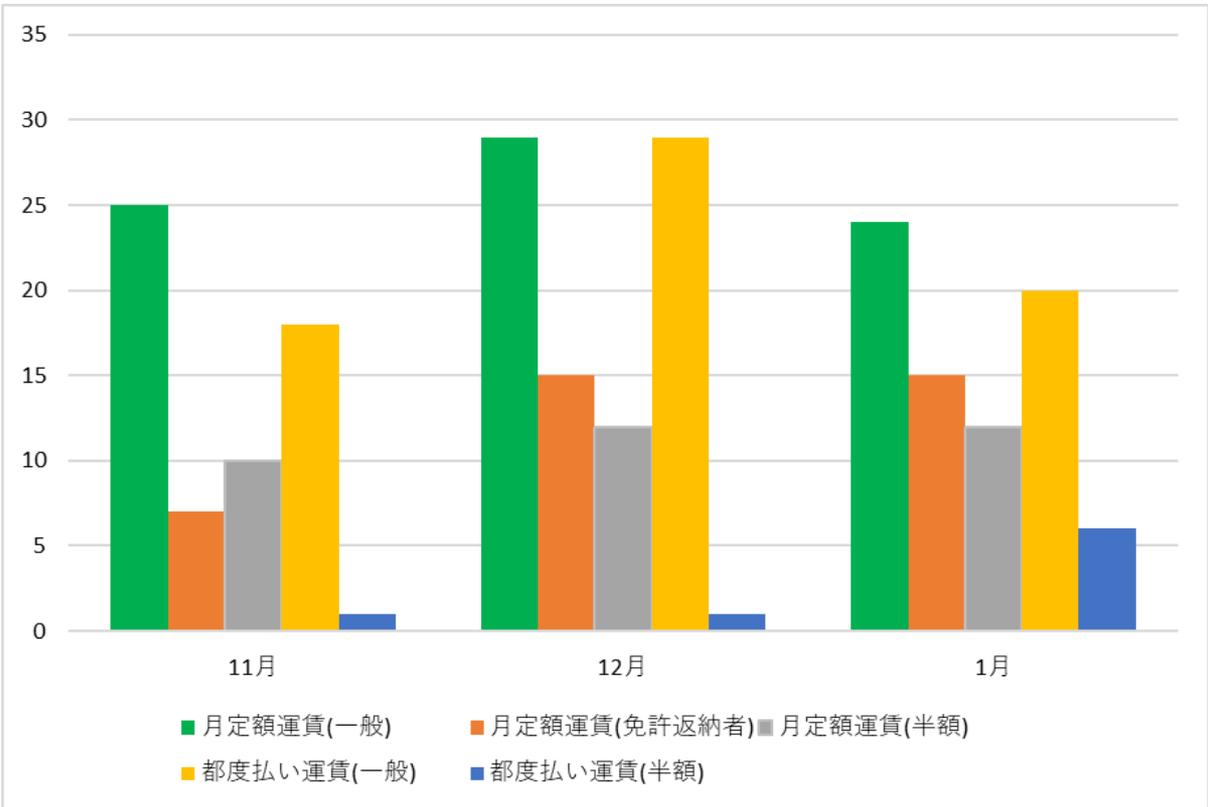
# ➤ 運賃別利用者数 (令和4年11月～令和5年1月)

■ 運賃別利用者数

定額運賃種別	11月	12月	1月	合計
月定額運賃(一般)	25	29	24	78
月定額運賃(免許返納者)	7	15	15	37
月定額運賃(半額)	10	12	12	34
都度払い運賃(一般)	18	29	20	67
都度払い運賃(半額)	1	1	6	8

○ 定額運賃、都度払い運賃のいずれも一般が多い傾向にあります。

○ 居住地や利用頻度によって都度払いでも比較的安価に利用できている利用者が一定数います。



## ～ 参 考 ～

### 月定額運賃

- 一般 : 3,000円
- 返納者 : 2,000円
- 半額 : 1,500円

### 都度払い運賃

- 一般 : 1,000円
- 半額 : 500円

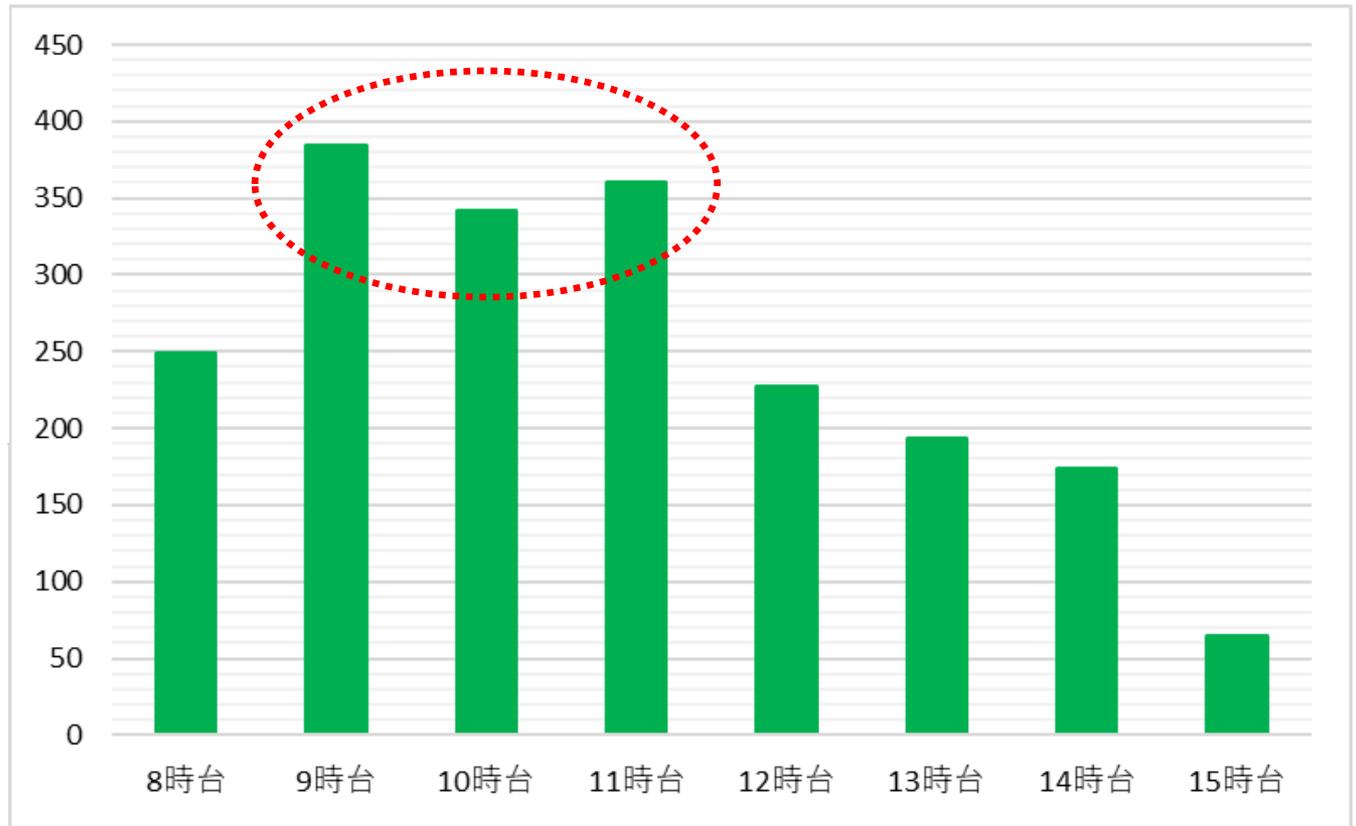
# ▶ 時間帯別の利用状況 (令和4年10月～令和5年1月)

■ 時間帯別乗車人数(合計)

時間帯	
8時台	249
9時台	384
10時台	342
11時台	360
12時台	227
13時台	194
14時台	174
15時台	65
計	1995

○ 朝9時～11時代に利用者の需要がピークとなっています。

⇒ 通院の時間帯が集中してしまうことから、この時間帯は前日までの予約で埋まってしまう。

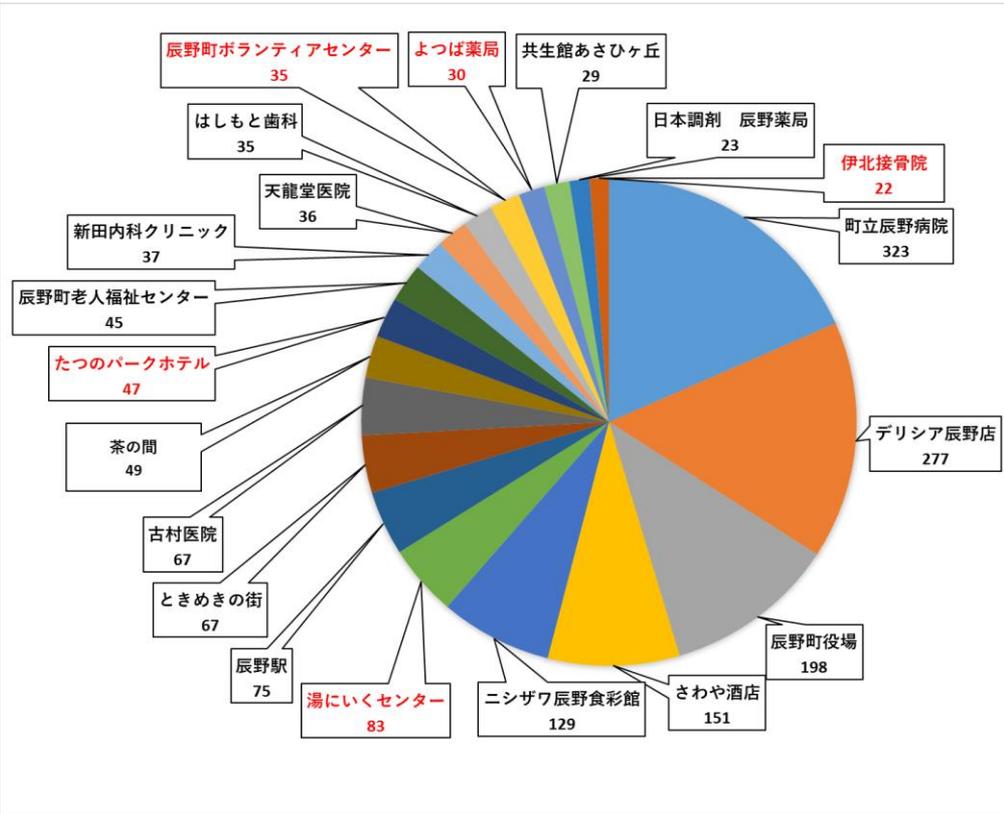


# 各施設ごとの利用状況

(令和4年10月～令和5年1月)

■施設別利用頻度TOP20

	施設名	人	割合
1	町立辰野病院	323	18%
2	デリシア辰野店	277	16%
3	辰野町役場	198	11%
4	さわや酒店	151	9%
5	ニシザワ辰野食彩館	129	7%
6	<b>湯にいくセンター</b>	<b>83</b>	<b>5%</b>
7	辰野駅	75	4%
8	ときめきの街	67	4%
9	古村医院	67	4%
10	茶の間	49	3%
11	<b>たつのパークホテル</b>	<b>47</b>	<b>3%</b>
12	辰野町老人福祉センター	45	3%
13	新田内科クリニック	37	2%
14	天龍堂医院	36	2%
15	はしもと歯科	35	2%
16	<b>辰野町ボランティアセンター</b>	<b>35</b>	<b>2%</b>
17	<b>よつば薬局</b>	<b>30</b>	<b>2%</b>
18	共生館あさひヶ丘	29	2%
19	日本調剤 辰野薬局	23	1%
20	<b>伊北接骨院</b>	<b>22</b>	<b>1%</b>



○最も多く利用されている施設は辰野病院となりました。

○実証実験の開始とともに追加をした施設から力所あり、行先の追加により利用回数が増えていることが分かります。

○気温が寒くなるにつれて温泉への利用が増加していく傾向がありました。

## 辰野町デマンド型乗合タクシー実証実験に関するアンケート調査結果

## 1 調査の概要

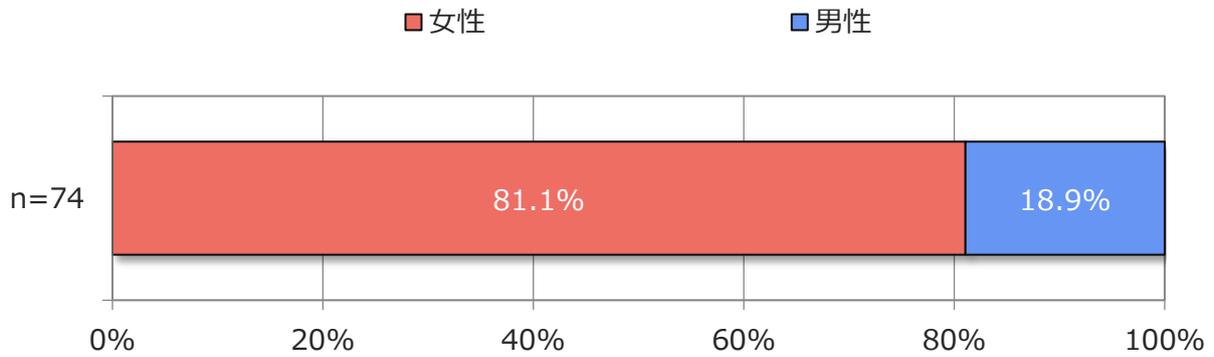
調査目的	令和4年10月より実証運行を開始した乗合タクシーについて、その効果を検証することを目的に利用者を対象としたアンケート調査を実施した。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 個人属性（性別・居住地区・年齢・免許証の保有状況など）</li><li>○ 乗合タクシーについて（運行方式・利用方法・仕組み）</li><li>○ 乗合タクシー運行による変化（外出回数・出かけやすさなど）</li><li>○ 乗合タクシーに対する評価（運賃・運行日、運行時間・予約時間など）</li><li>○ 新しく増やしてほしい乗降場所</li><li>○ 自由記述</li></ul>
調査方法	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 配布方法：令和4年10月以降の乗合タクシー利用者に調査票を郵送</li><li>○ 回収方法：郵送・FAX・ドライバーに手渡し</li></ul>
調査期間	令和4年10月1日～令和5年2月17日
回収票	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 回収票：74枚</li><li>○ 配布数106に対して、回収率69.0%</li></ul>

## 2 基礎集計結果

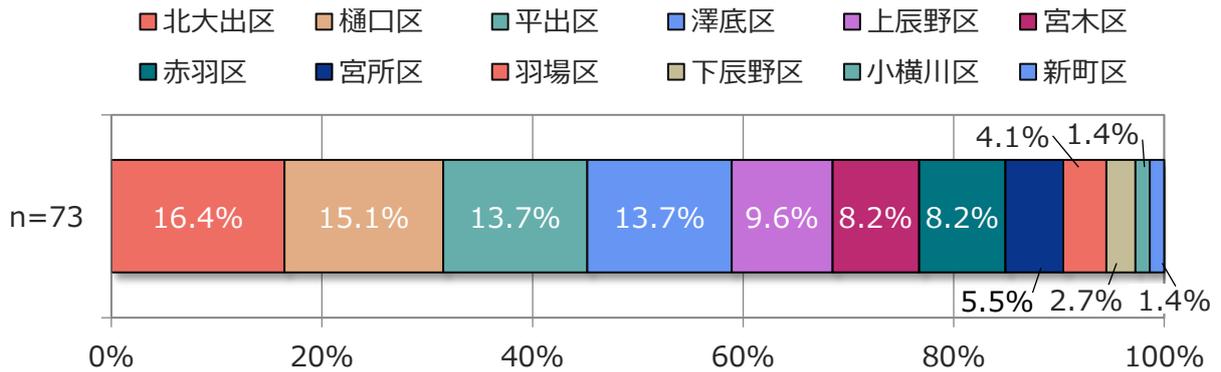
### 1 個人属性

【問 1】

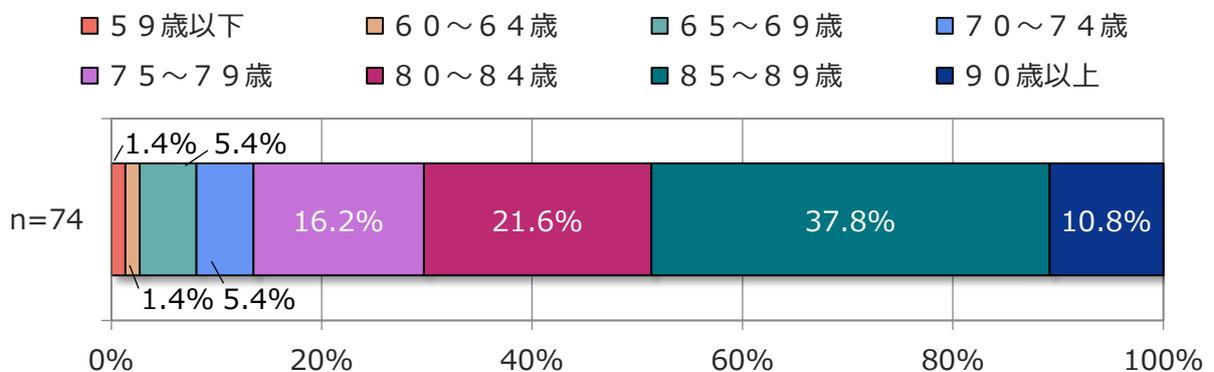
① 性別



② 居住地区

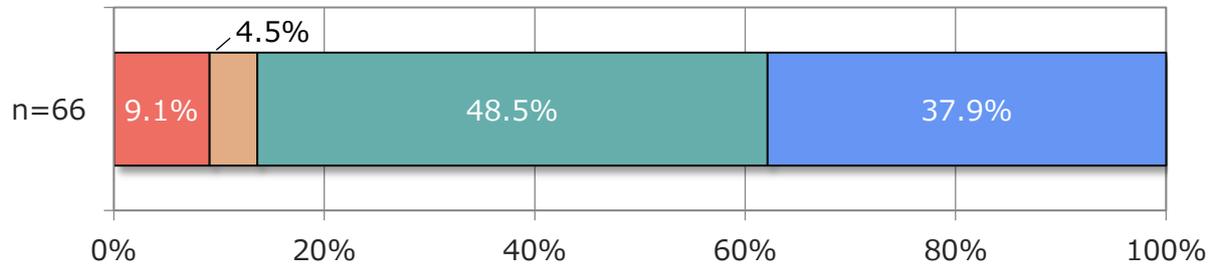


③ 年齢



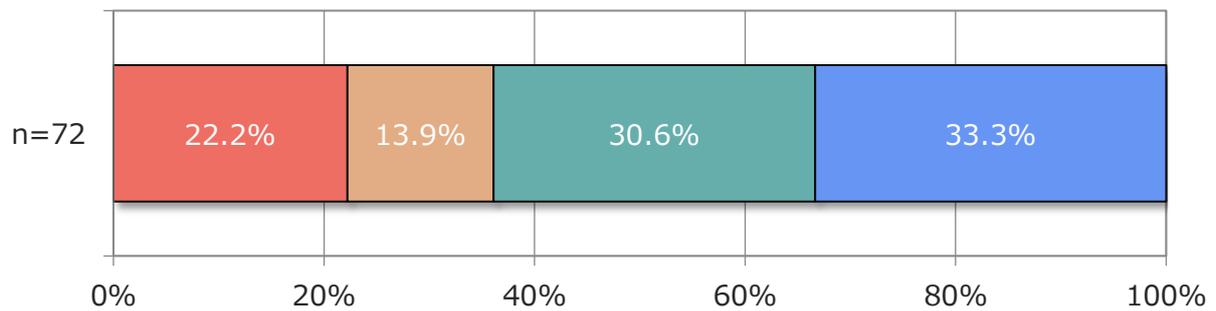
④ 免許証の保有状況

■自動車免許あり ■自動二輪・原付免許あり ■保有していたが返納した ■もともと保有していない



⑤ スマートフォンの保有状況

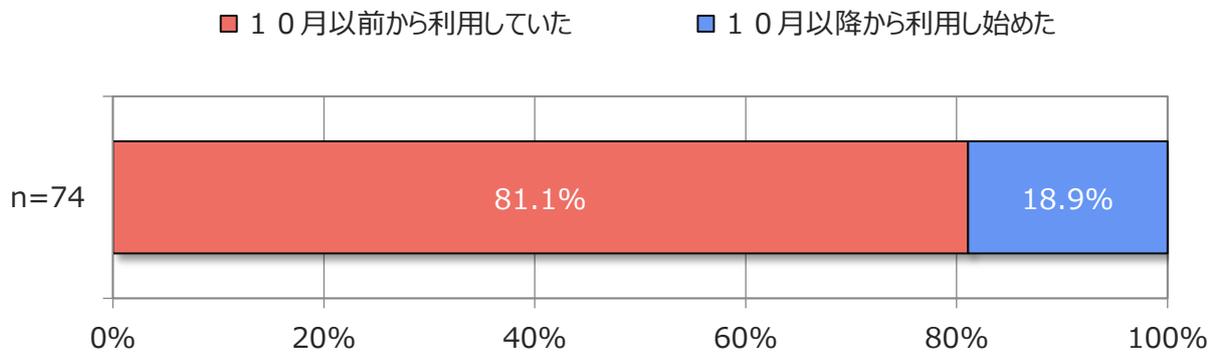
■スマートフォンを持っており、日常的にメールを使っている  
■スマートフォン以外の携帯電話を持っており、日常的にメールを使っている  
■スマートフォンや携帯電話をもっているがメールは使っていない  
■スマートフォンは持っていない



## 2 乗合タクシーについて

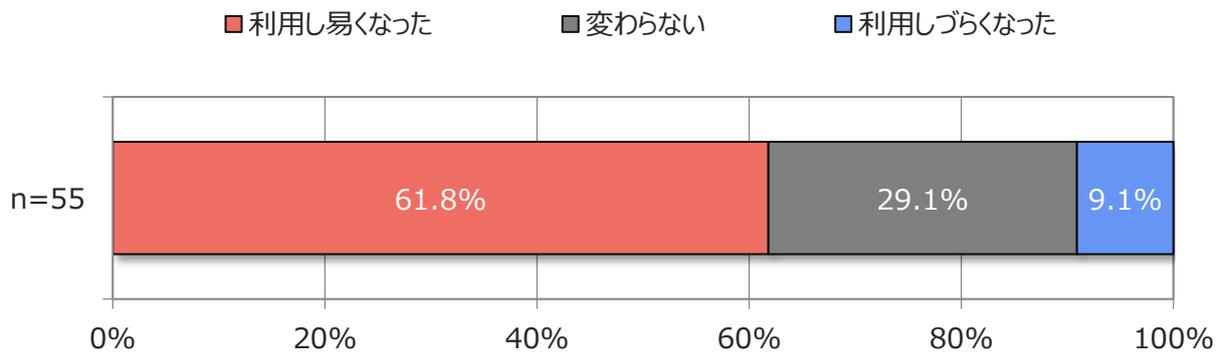
【問2】【問3】乗合タクシーの利用状況と満足度

乗合タクシーの利用開始時期

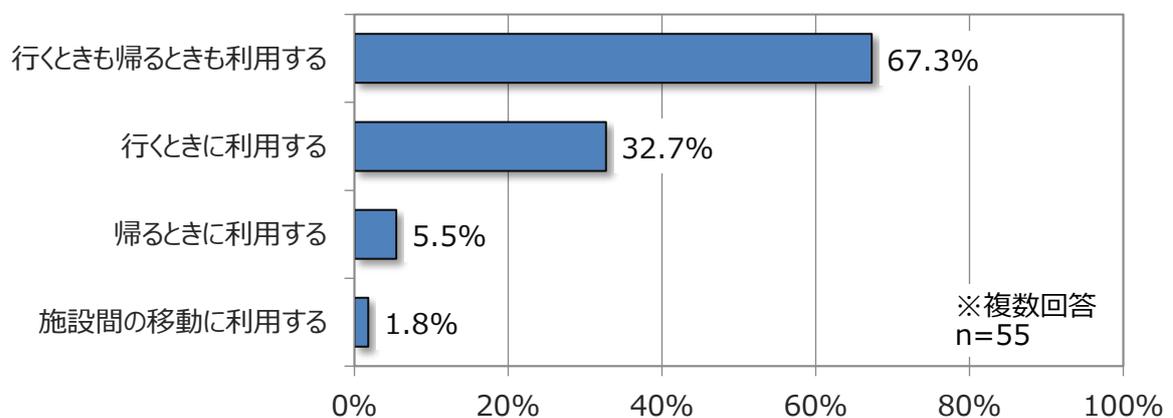


① 10月以前からの利用者

○ 運行方式（昨年10月までの乗合タクシーと比べると、どのように変わりましたか）

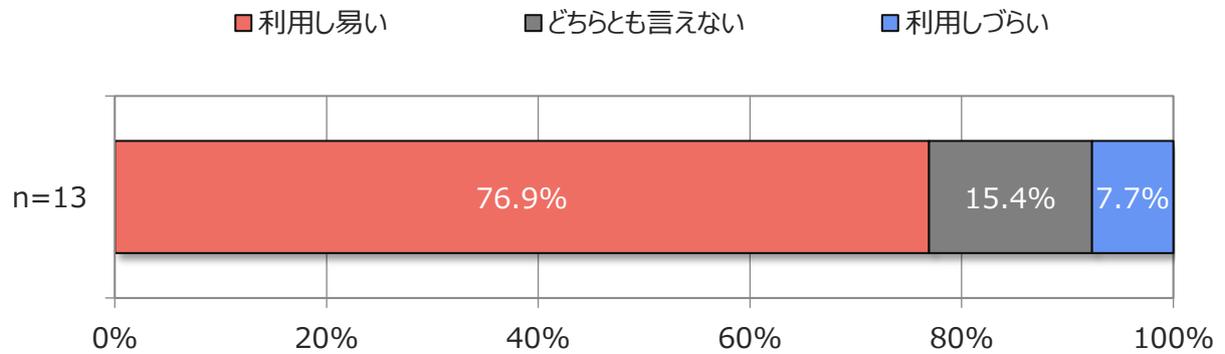


○ 利用方法

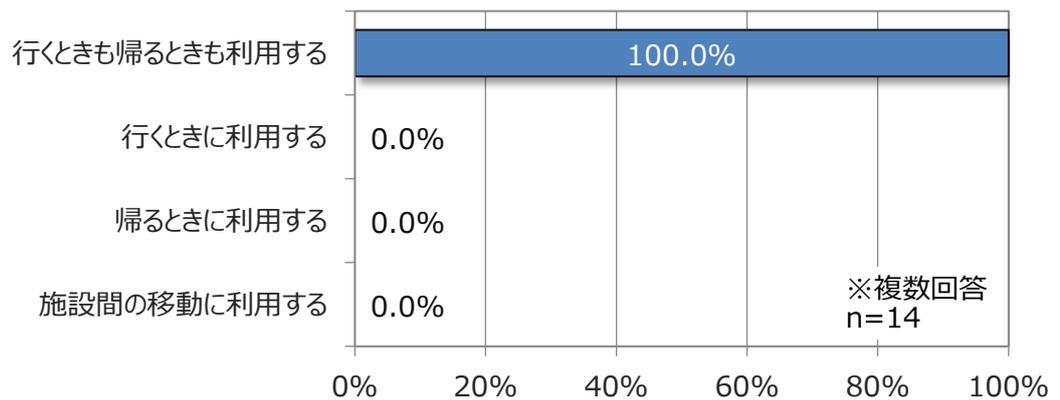


② 10月以降からの利用者

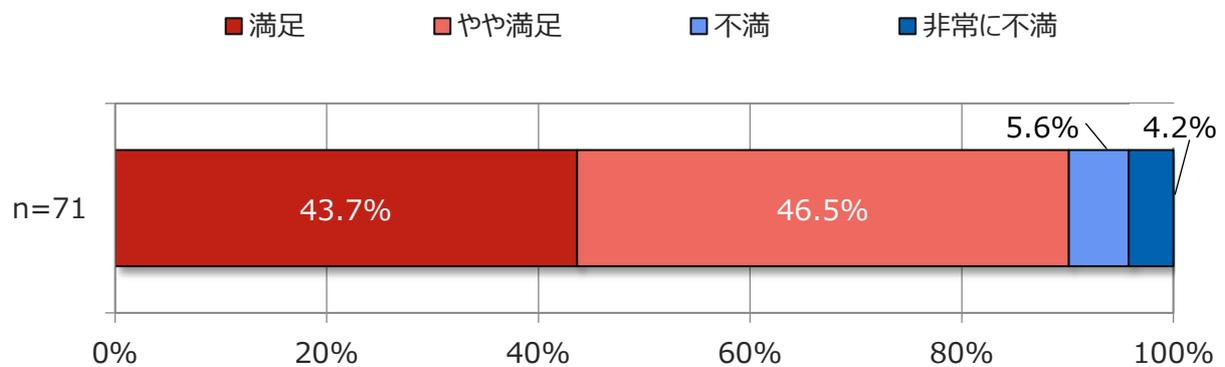
○ 運行方式（乗合タクシーは利用しやすいですか）



○ 利用方法



乗合タクシーの仕組みについて



【回答の理由】

○ 好意的な回答

自宅まで送迎してもらえるから	6
予約時間、乗降場所等便利になったから	6
その他	4

(その他の内容:「助かっている」、「時間通り来てくれる」など)

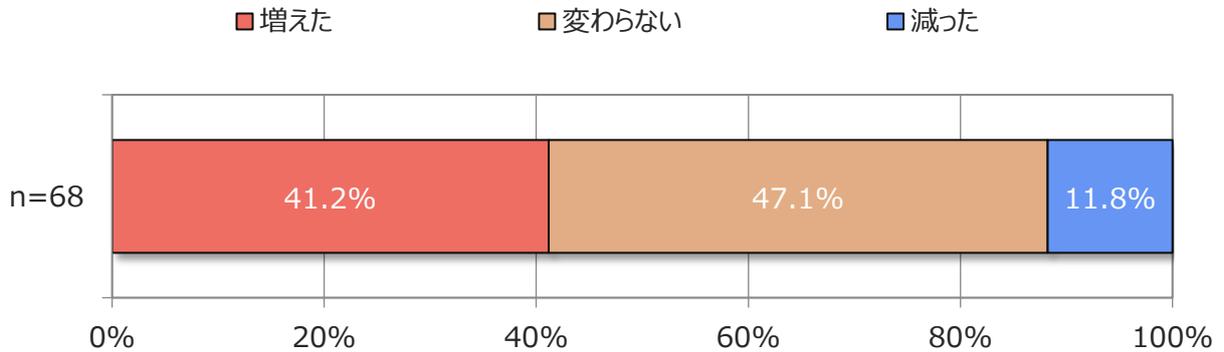
○ 意見・要望等

帰りの利用ができない、予約しにくい	7
時間があいまい、待ち時間が長い	7
運行時間帯を延長してほしい	2
運賃が高い	2
家まできてもらえない	2
その他	8

(その他の内容:「乗降場所がわかりにくい」、「待合場所のベンチが汚い」など)

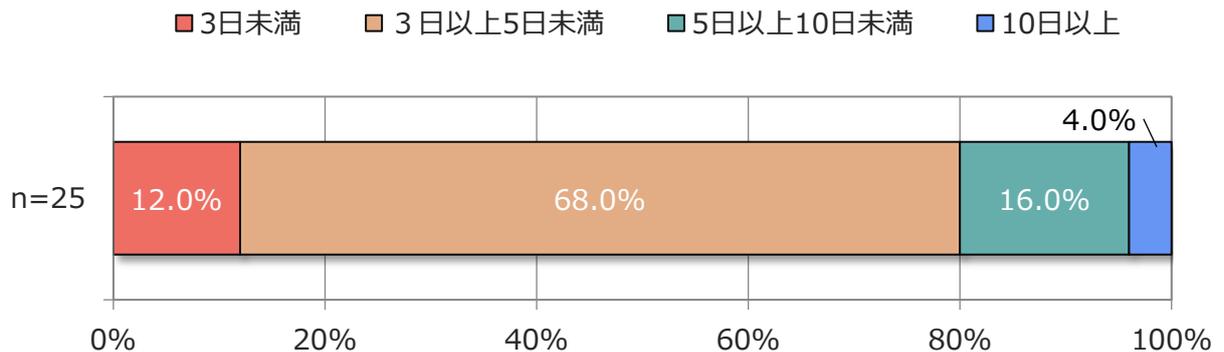
【問4】乗合タクシーの運行による変化

① 外出回数

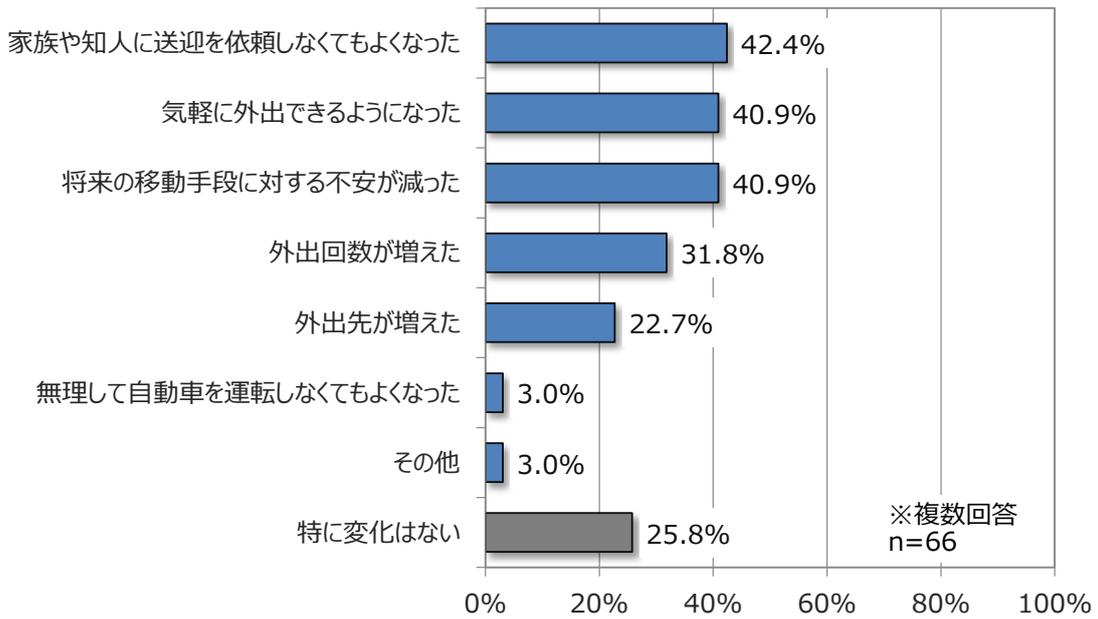


【増えた外出日数 (1カ月あたり)】

一ヶ月あたり平均で 4.3 日外出が増加

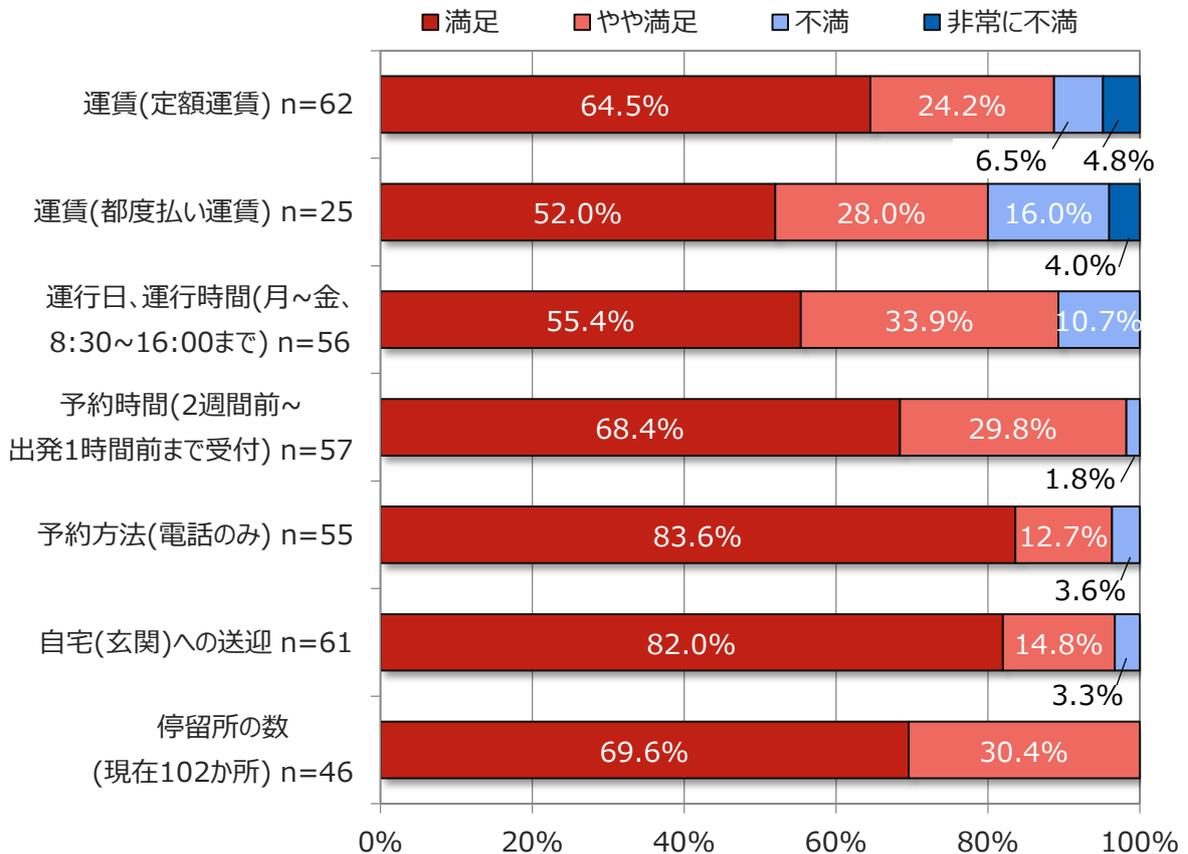


② 出かけやすさ、暮らしやすさ



(その他の内容：「外出が楽になった」1名)

【問5】乗合タクシーに対する評価

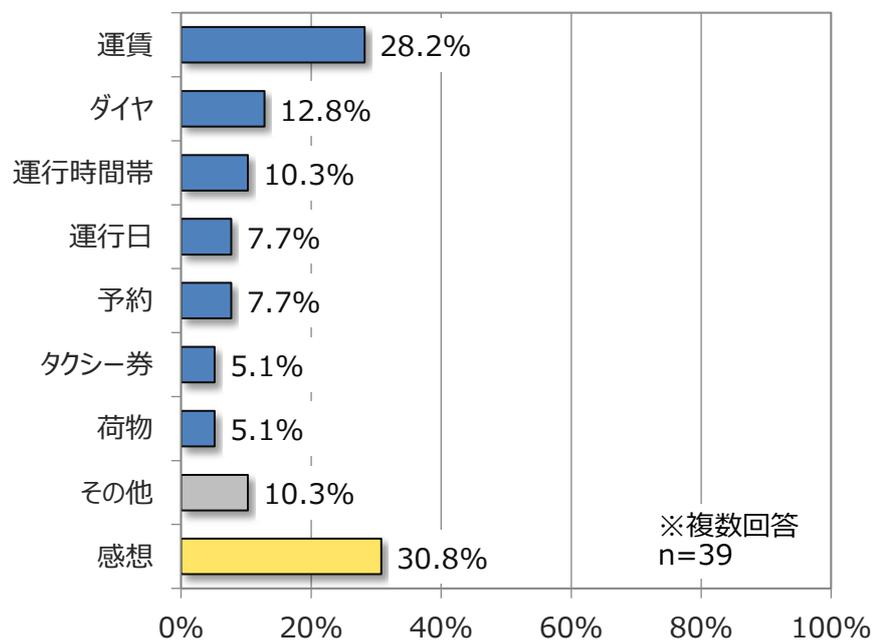


【問6】 増やしてほしい乗降場所

辰野キリスト協会（宮木駅の裏側）	1
お寺（真金寺、法雲寺）	1
中央歯科医院	1
外食の出来る飲食店、かやぶきの館（但し、秋の松茸収穫期限定期間中）	1
宮所の中部郵便局	1
マルニスーパー、バロー	1
泉水の里	1

3 自由記述

【問7】 乗合タクシーについての感想・意見・要望等



# 辰野町地域公共交通会議にかかる 法定協議会の設置について

---

# 地域公共交通会議と法定協議会の設置



公共交通会議と法定協議会を別々に設けるのではなく、1つの協議組織に2つの機能を併せ持つ、**二法協議会**として開催します。

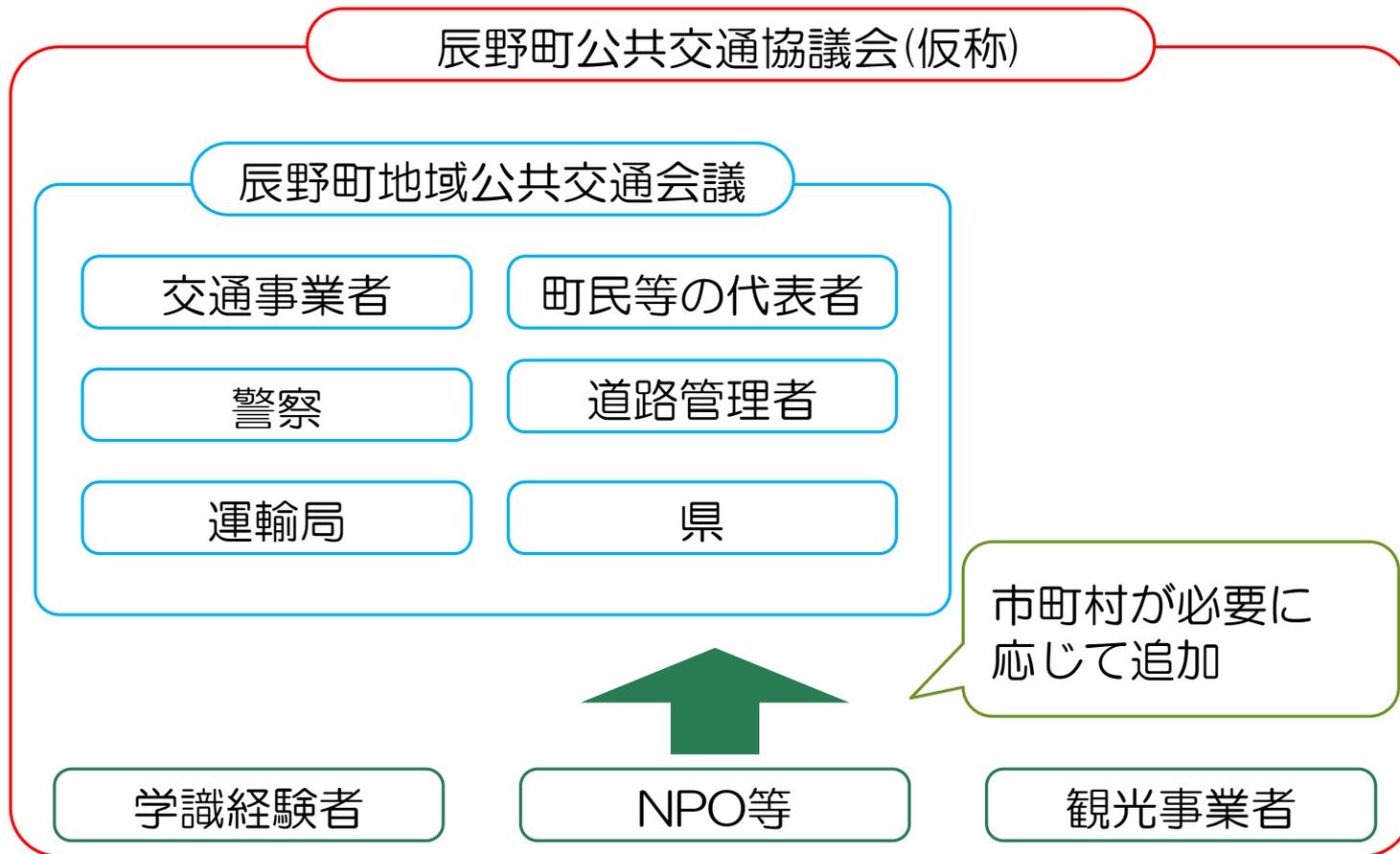
## 法定協議会

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律を根拠とする組織
- 行政、交通事業者、町民等に加え、観光事業者、NPO団体など市町村が必要と判断した構成員で組織
- **地域公共交通計画**の策定及び実施に関し必要な協議を行う
- 既存の公共交通サービスに加え、NPO等の福祉輸送、民間事業者の輸送サービスなど様々な輸送資源を活用

## 地域公共交通会議

- 道路運送法を根拠とする組織
- 行政、交通事業者、町民等で組織
- 主にバス・タクシーの運行に関する内容を協議

# 法定協議会の構成員について



辰野町の場合、公共交通会議の構成員が法定協議会の構成員の要件を満たしているため大きな変更はしない。

様々な交通手段に対応するため、構成員を追加することもあります。

# 地域公共交通計画の位置づけ

- ◆ 地域公共交通計画は、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービス（人を運ぶ役割）の姿」を明らかにする「公共交通の総合的な計画」。
- ◆ 町が地域の移動に関する関係者を集めて法定協議会での協議を行って作成するもの。
- ◆ バス、タクシーといった既存の公共交通サービスを活用した上で、民間事業者の送迎サービスや福祉輸送などの多様な輸送資源も活用することで、持続可能な交通サービスを幅広い世代に提供されることを目指します。

## 地域旅客運送サービス

### 公共交通機関



自家用有償旅客輸送、福祉輸送、  
スクールバス、病院、商業施設な  
どの送迎サービスなど

# 地域公共交通計画の必要性

- ◆地域にとって望ましい公共交通サービスの姿を明らかにする。
  - まちづくり施策や観光施策との連携強化
  - 交通事業者との連携強化
  - 公共交通事業の継続性の向上
- ◆公共交通機関は人口減少などの背景から利用者が減少傾向にあり、ドライバーの担い手不足も深刻化していることから、公共交通取り巻く環境は厳しさを増している。
  - 町が目指すべき公共交通機関の在り方を検討する必要がある。
- ◆町営バス及びデマンド型乗合タクシーの運行経費の補助金交付の要件に公共交通計画が連動化。
  - 補助を受け続けるためには令和6年6月30日までに計画の策定が必須。

これらの背景から、  
今後、公共交通計画の策定を目指します。